

献血の現状と課題

—東京都の献血状況と献血者確保の取り組み—

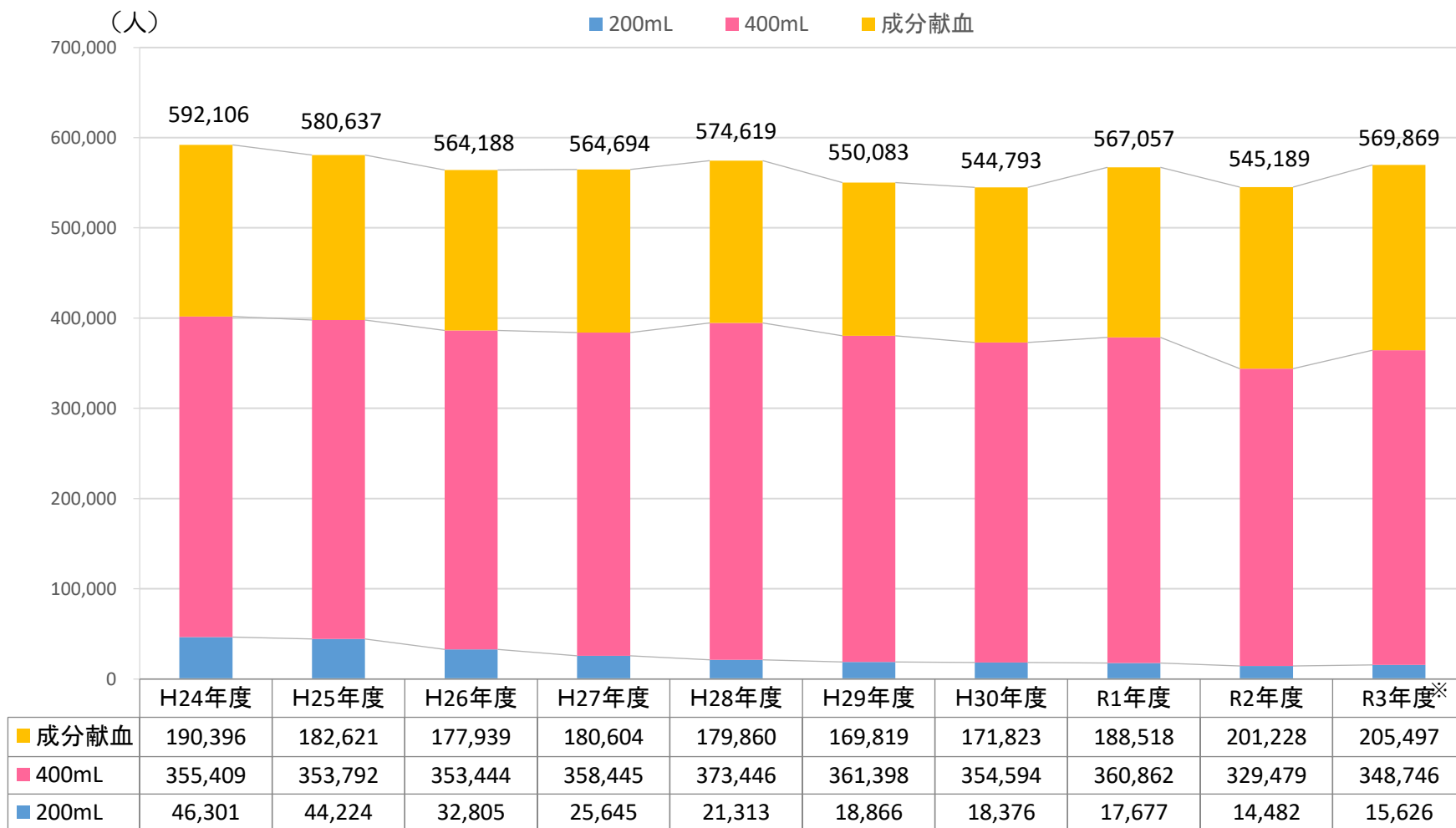
東京都献血推進協議会



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

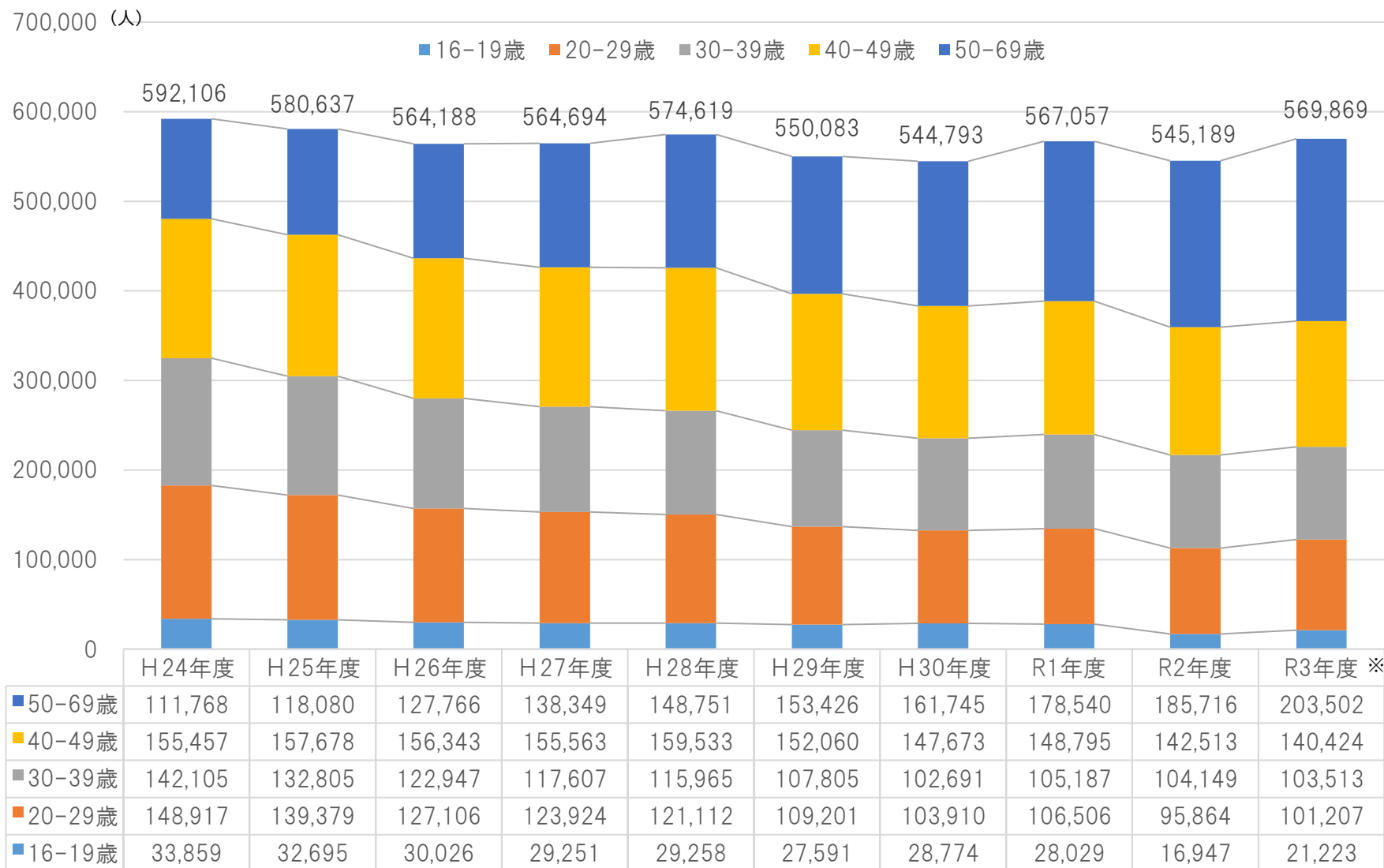
東京都赤十字血液センター
事業推進一部 旗持 俊洋

1. 献血者数(東京都)



※令和3年度については4月から2月までの実績値と3月計画数の合算

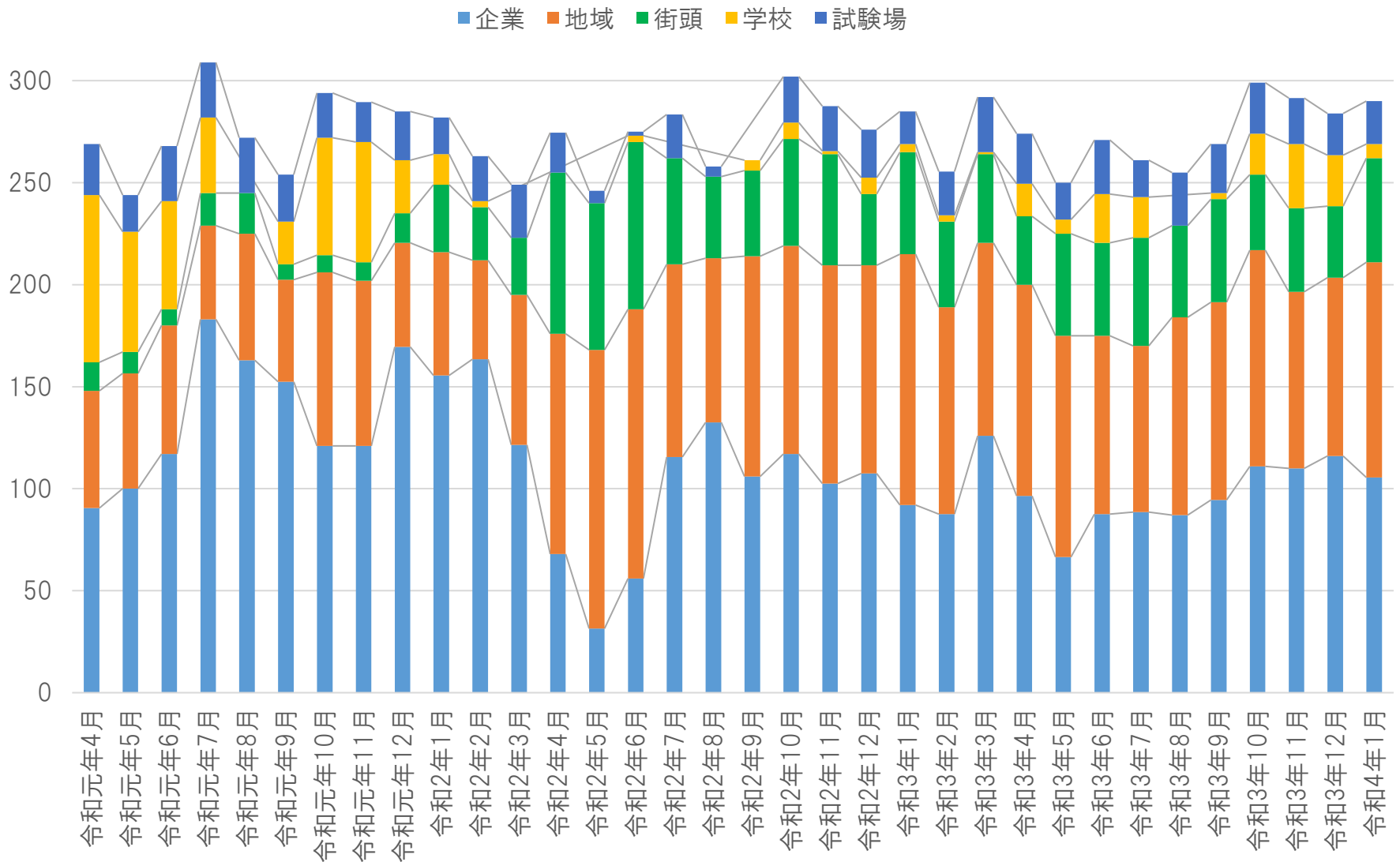
2. 年齢別・献血者数の推移(東京都)



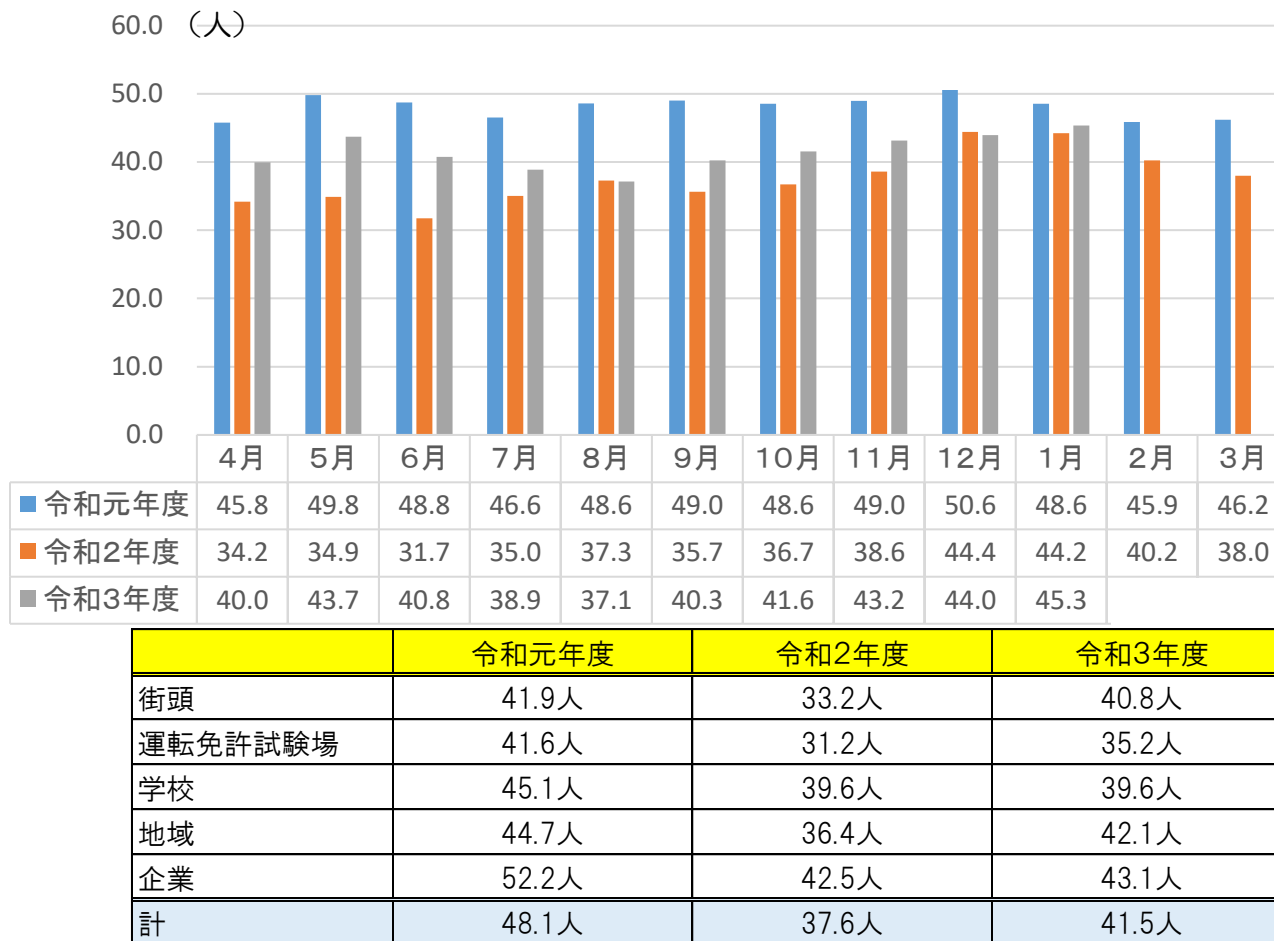
※令和3年度については4月から2月までの実績値と3月計画数の合算

3. 献血実施会場域別推移（東京都）令和元年度～令和3年度

(班数)



4. 献血バス・出張採血における1稼働当たりの献血者数



- 「企業」「学校」献血は、出社制限等の影響により下がった。一稼働当たりの献血者数は徐々に増加している。
- 「街頭」「地域」献血は予約推進を強化し結果、コロナ禍以前（令和元年度）に近い一稼働当たりの献血者数となった。

5. 職業別献血数と年代別献血者数(東京都)

| | 公務員 | 会社員 | 高校生 | 大学生 | その他学生 | 主婦 | 自営業 | その他 | 合計 |
|----------------------|--------|---------|-------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和元年度 | 55,177 | 348,224 | 8,969 | 44,414 | 7,078 | 27,837 | 19,141 | 56,217 | 567,057 |
| 令和2年度 | 55,547 | 340,296 | 8,240 | 27,380 | 5,868 | 29,556 | 20,737 | 57,565 | 545,189 |
| 令和3年度※ | 57,023 | 352,766 | 8,399 | 35,748 | 6,119 | 30,627 | 21,409 | 57,778 | 569,869 |
| 増減数 (令和2年度-令和元年度) | 370 | -7,928 | -729 | -17,034 | -1,210 | 1,719 | 1,596 | 1,348 | -21,868 |
| 増減数 (令和3年度-令和2年度) | 1,476 | 12,470 | 159 | 8,368 | 251 | 1,071 | 672 | 213 | 24,680 |
| 増減数 (令和3年度-令和元年度) | 1,846 | 4,542 | -570 | -8,666 | -959 | 2,790 | 2,268 | 1,561 | 2,812 |

※令和3年度については4月から2月までの実績値と3月計画数の合算

「学校」献血会場減少の影響により、学生全体の献血者数はコロナ禍以前より減少した。

| | 16-19歳 | 20-29歳 | 30-39歳 | 40-49歳 | 50-59歳 | 60-69歳 | 合計 |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 令和元年度 | 28,029 | 106,505 | 105,188 | 148,792 | 135,778 | 42,765 | 567,057 |
| 令和2年度 | 16,947 | 95,864 | 104,149 | 142,513 | 139,474 | 46,242 | 545,189 |
| 令和3年度※ | 21,223 | 101,207 | 103,513 | 140,424 | 151,351 | 52,151 | 569,869 |
| 増減数 (令和2年度-令和元年度) | -11,082 | -10,641 | -1,039 | -6,279 | 3,696 | 3,477 | -21,868 |
| 増減数 (令和3年度-令和2年度) | 4,276 | 5,343 | -636 | -2,089 | 11,877 | 5,909 | 24,680 |
| 増減数 (令和3年度-令和元年度) | -6,806 | -5,298 | -1,675 | -8,368 | 15,573 | 9,386 | 2,812 |

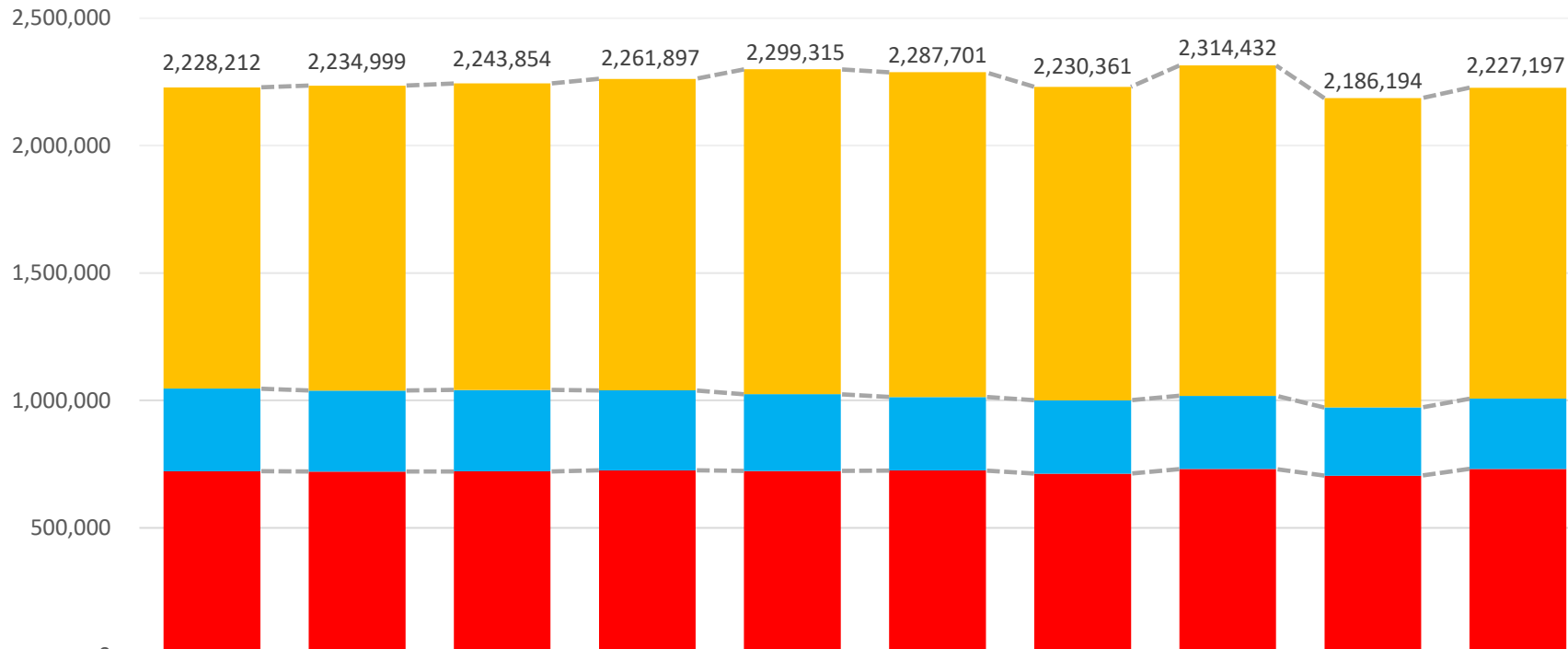
※令和3年度については4月から2月までの実績値と3月計画数の合算

「学校」「企業」献血会場減少の影響により、40代以下の献血者数はコロナ禍以前より減少した。

6. 輸血用血液製剤の供給数(東京都)

200mL単位換算
(本)

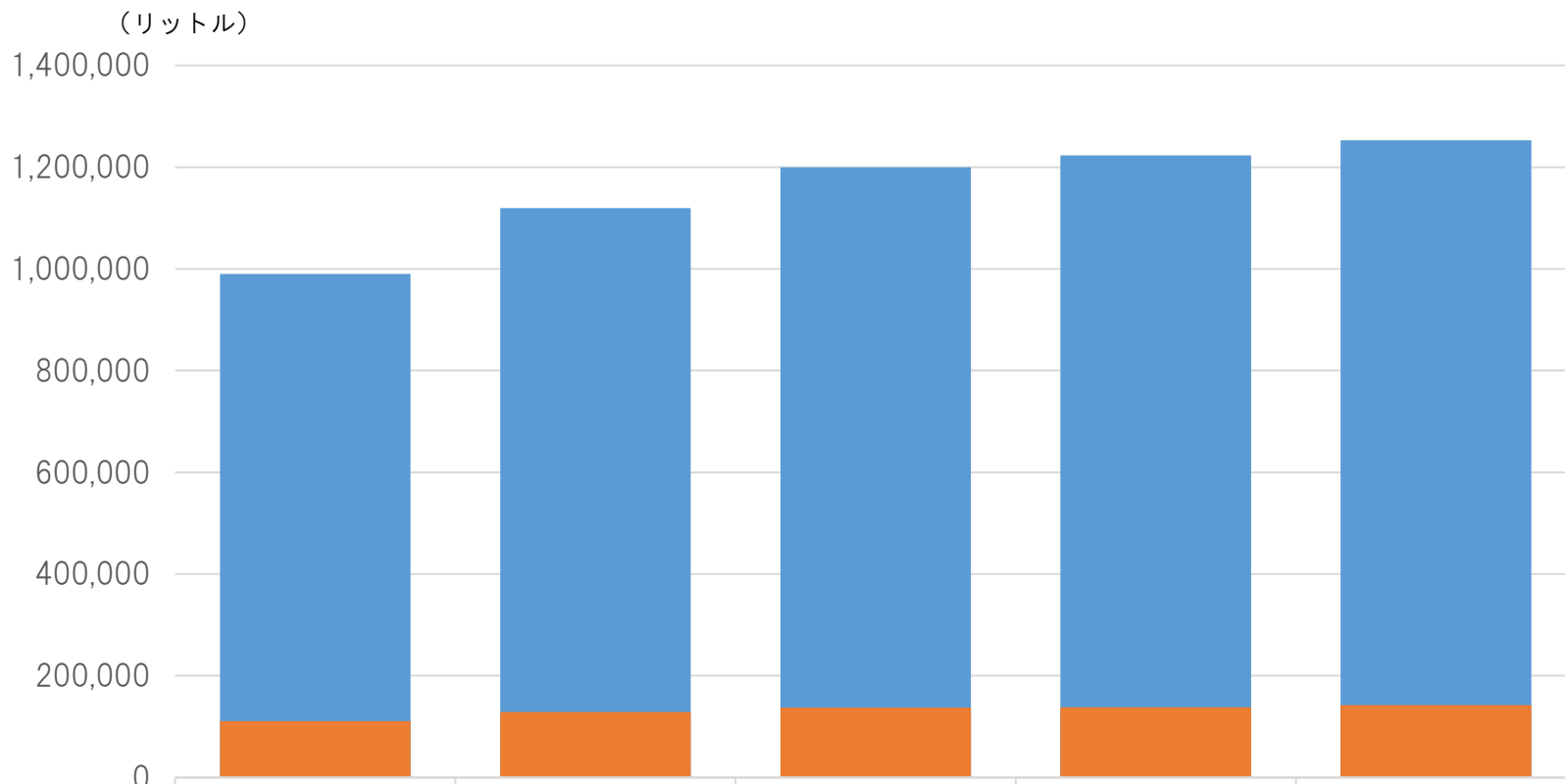
■ 全血製剤 ■ 赤血球製剤 ■ 血漿製剤 ■ 血小板製剤



| | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 ※ |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ■ 血小板製剤 | 1,182,292 | 1,196,193 | 1,202,739 | 1,222,497 | 1,275,081 | 1,274,558 | 1,230,142 | 1,296,730 | 1,213,780 | 1,220,289 |
| ■ 血漿製剤 | 324,174 | 318,245 | 319,624 | 313,838 | 301,188 | 288,638 | 287,327 | 287,395 | 268,040 | 275,952 |
| ■ 赤血球製剤 | 721,728 | 720,551 | 721,489 | 725,562 | 723,046 | 724,487 | 712,872 | 730,283 | 704,362 | 730,956 |
| ■ 全血製剤 | 18 | 10 | 2 | 0 | 0 | 18 | 20 | 24 | 12 | 0 |

※令和3年度については4月から1月までの実績値と2・3月計画数の合算

7. 原料血漿の確保目標量（全国と東京都）

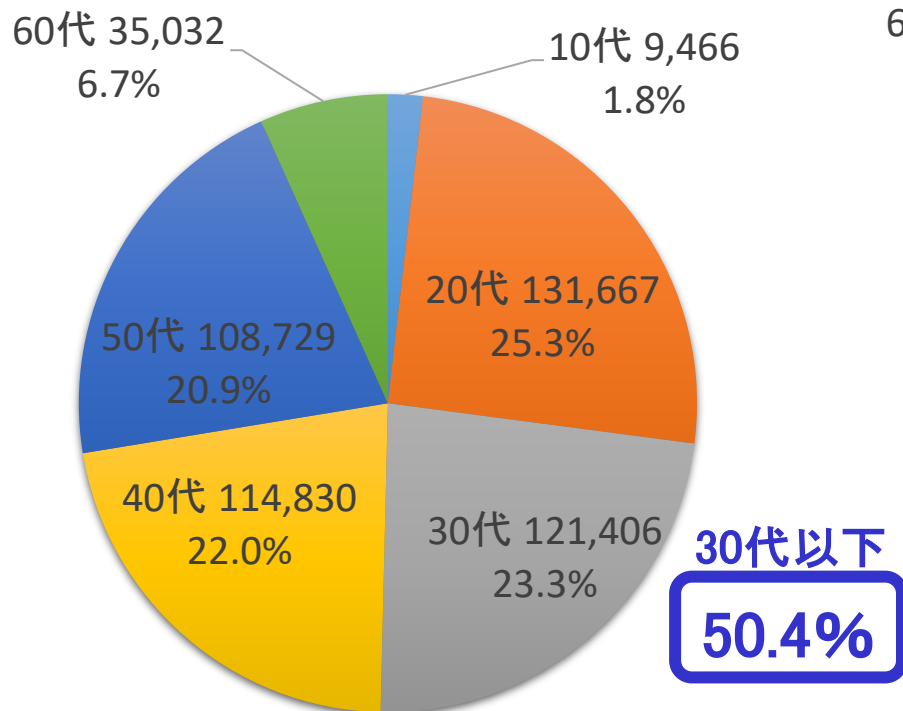


免疫グロブリン製剤の需要増加に伴い、原料血漿の必要量が増加し、その確保目標量も増加している。

8. 複数回献血クラブ(ラブラッド)の状況

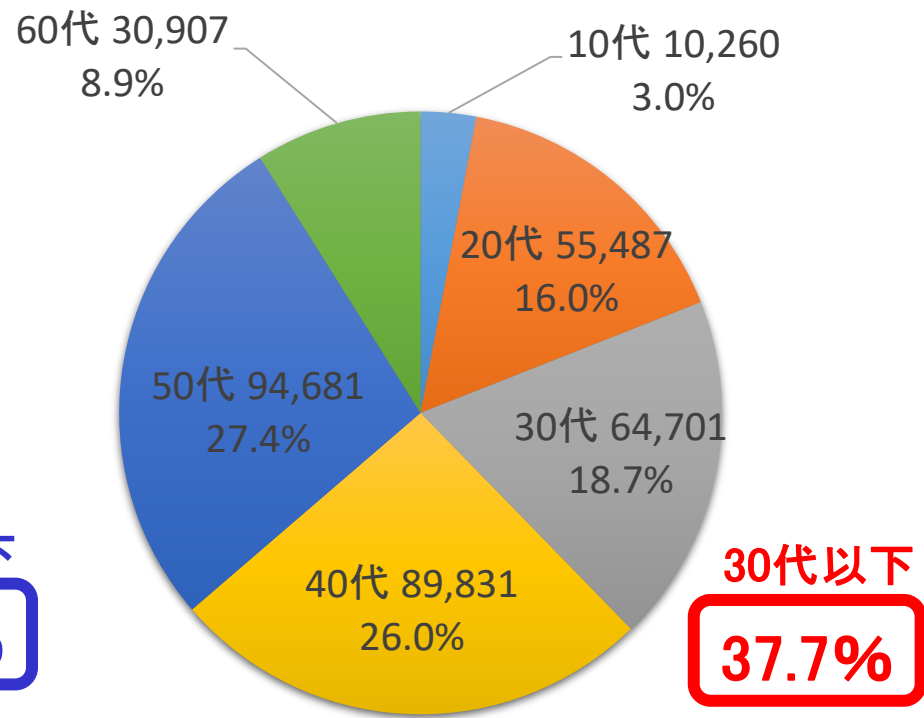
会員登録者数(東京都) R4.1現在

合計521,130人



会員献血者数(東京都) R3.4~R4.1

合計345,867人



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

30代以下の会員の複数回献血強化

9. 今後の課題

【献血協力者の確保】

- 若年層における献血者確保（10代・20代・30代）
- 献血経験者の増加
- 献血の認知度向上
- 献血会場の確保と予約の推進

【必要な血液の確保】

- 400mL献血率の向上
- 血漿分画製剤用原料血漿の確保

10. コロナ禍における令和3年度の状況について

新型コロナウイルス感染症による影響として

- 企業・学校における献血会場の中止
- ワクチン接種による献血の中止（令和3年5月に国の方針により献血可能に）
- 学校の献血中止による10代・20代献血者の減少及び未経験者へのアプローチ機会の減少
- 献血セミナー実施校数の減少

11. コロナ禍における令和3年度の対応について

○安全な献血会場の運営

- ⇒職員の体温測定、手指消毒の徹底
- ⇒献血会場の入口で体温測定、献血会場内の換気
- ⇒予約の推進(献血会場の混雑回避)

○予約の推進

- ⇒献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を促進
- ⇒同サービスを活用した献血予約の推進

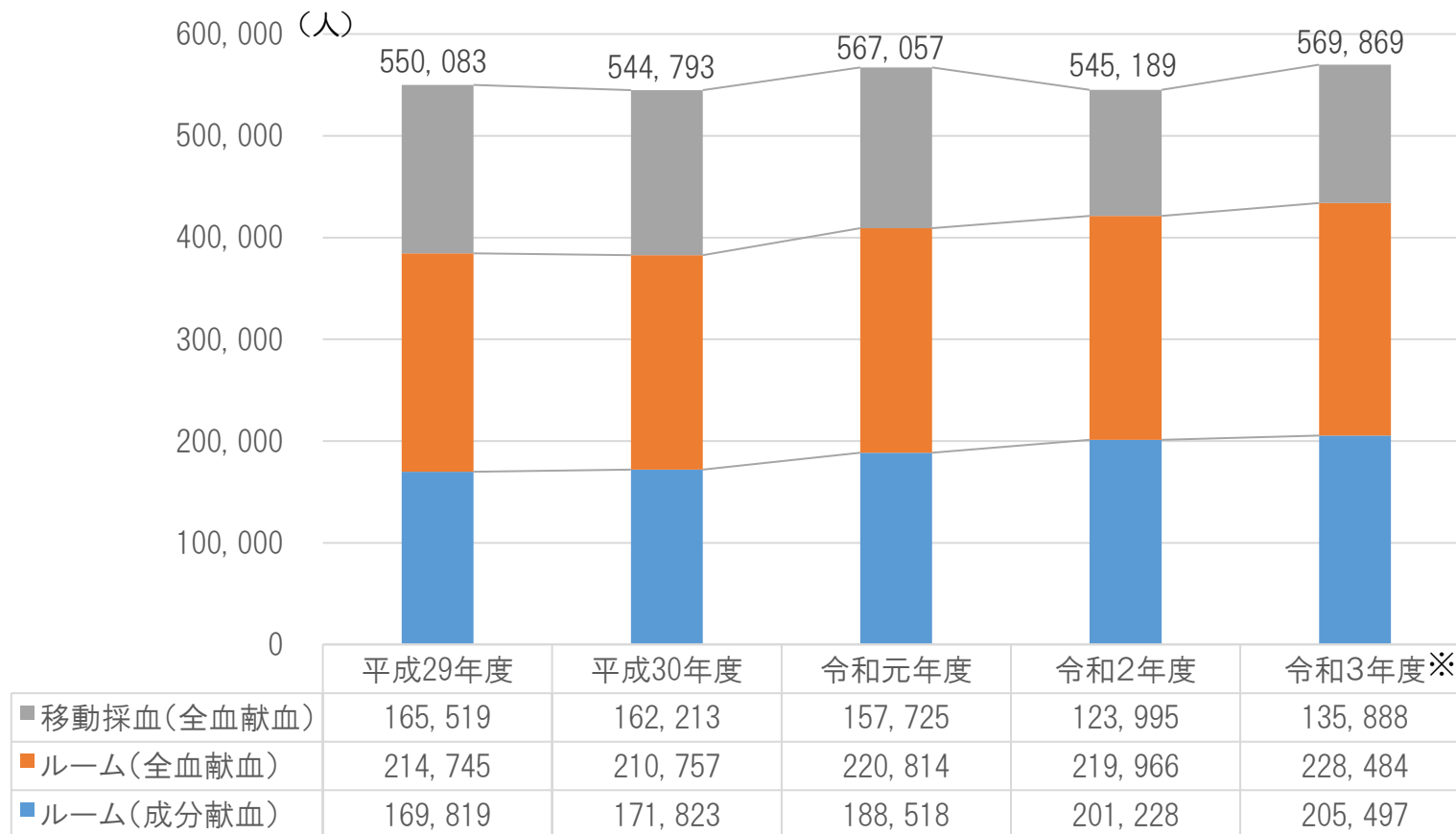
○中止会場への対応

- ⇒社内・学内ポータル等の媒体を活用し、献血ルーム等への誘導
- ⇒献血実施可能な企業・団体に対しては、実施回数の増加を依頼
- ⇒居住地を考慮した地域の方を対象とした振替先献血会場の設置
- ⇒地域の方を対象としたメール・ハガキ・電話による振替先献血会場への誘導
- ⇒年末年始の献血ルームの臨時開所

○献血セミナーへの対応

- ⇒オンラインによるセミナーが実施可能な環境整備

受入施設別献血者数



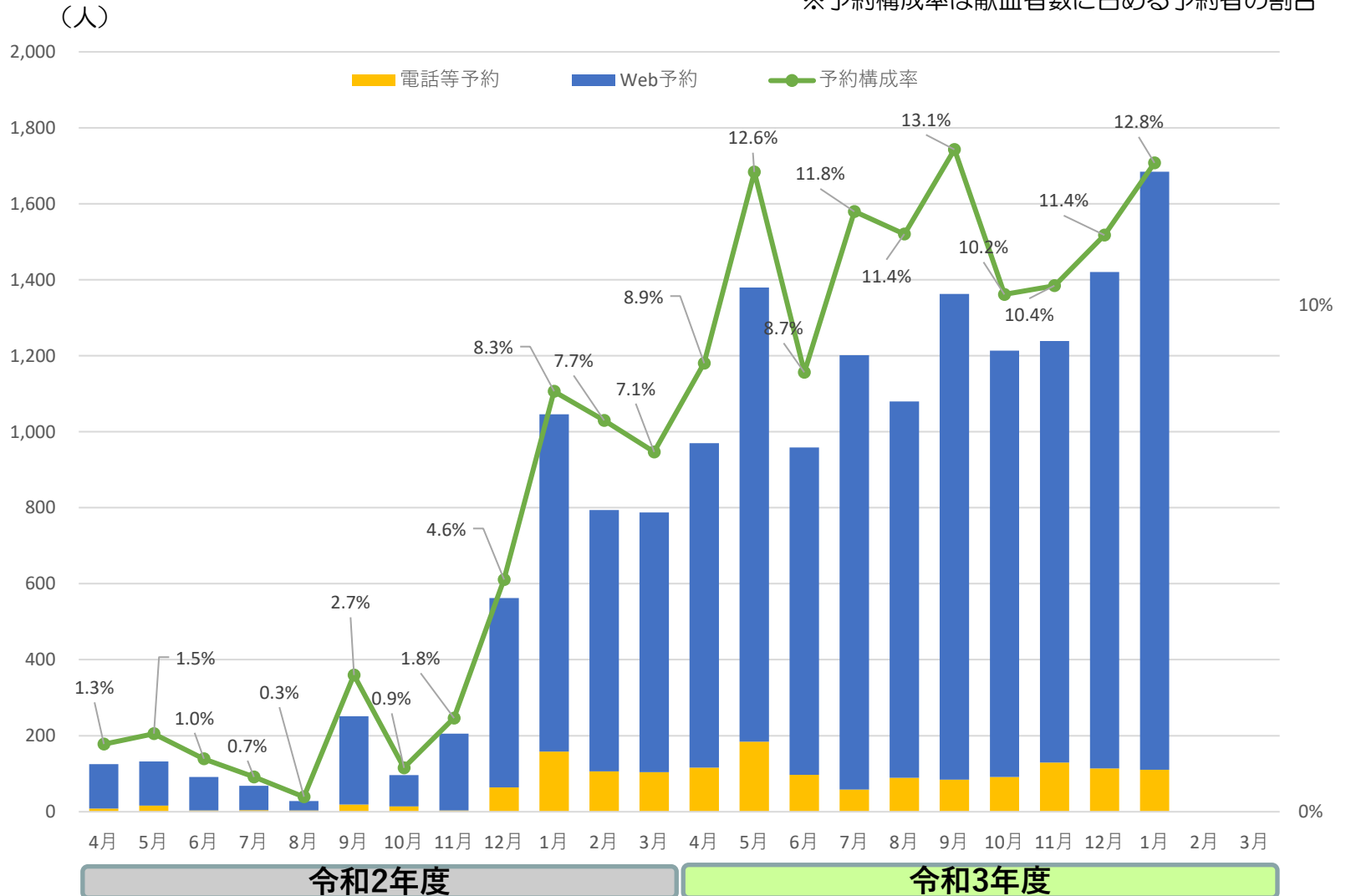
※令和3年度については4月から2月までの実績値と3月計画数の合算

- 中止会場への対応として、献血ルーム等への誘導をした結果、献血ルームは成分・全血献血ともに令和元年度の献血者数を上回る見込み。
- 移動採血（献血バス+出張採血）については、令和2年度の献血者数を上回ったが、令和2年度を除けば、減少傾向にある。

献血予約状況の推移(東京都)

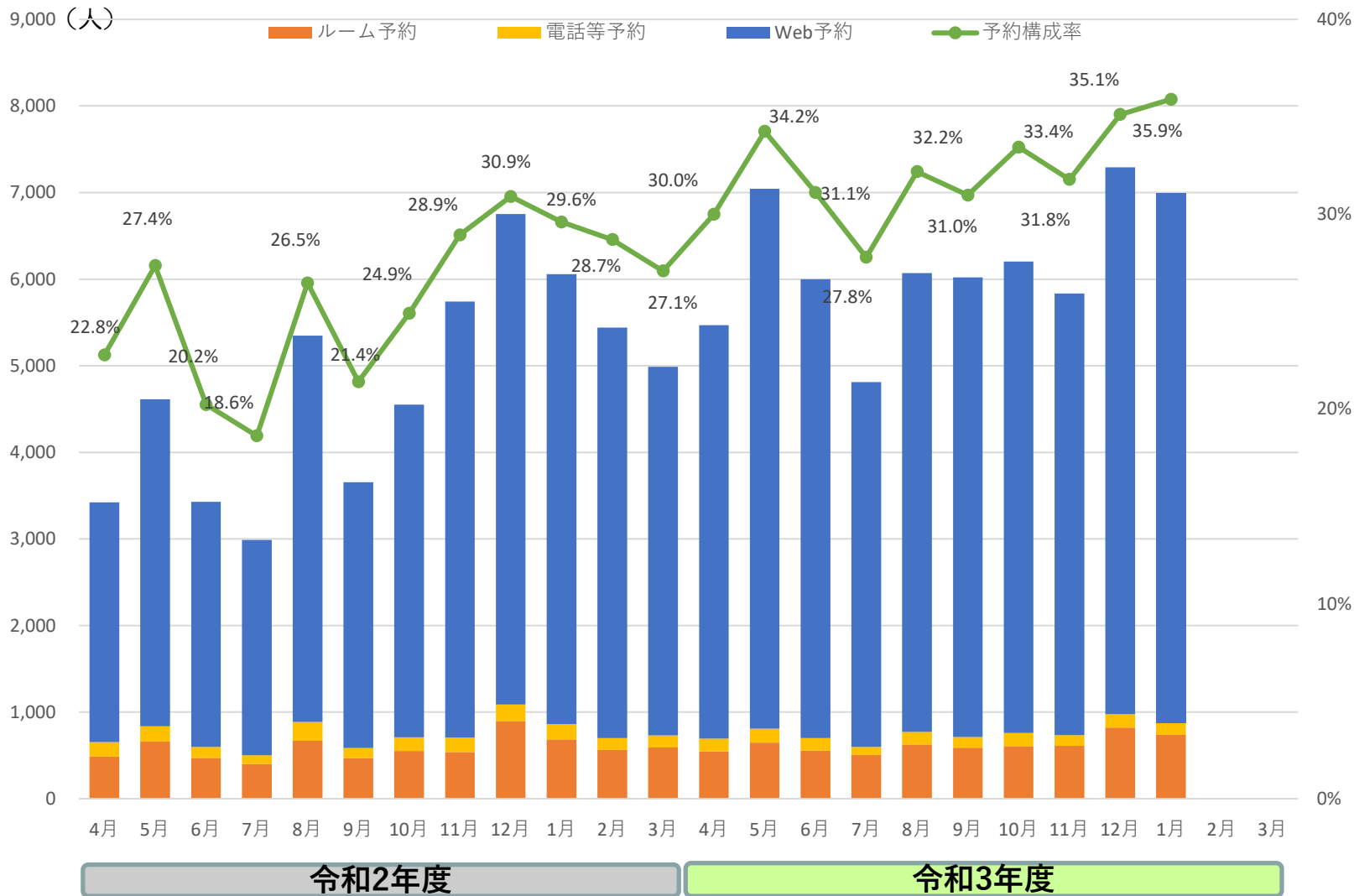
献血バス・出張献血(全血)の予約状況 R2.4~R4.1

※予約構成率は献血者数に占める予約者の割合



献血予約状況の推移(東京都)

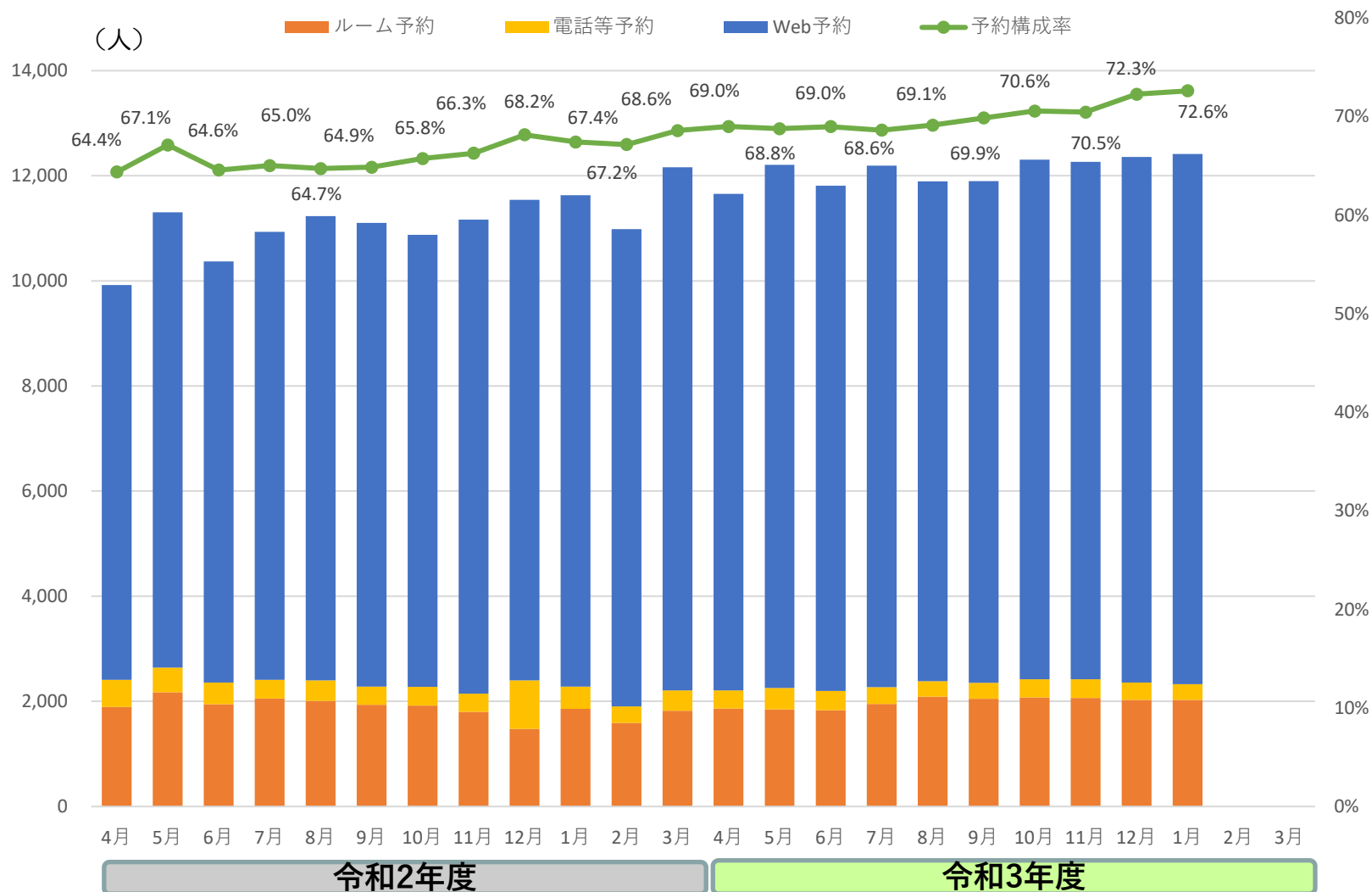
献血ルーム(全血)の予約状況 R2.4~R4.1 ※予約構成率は献血者数に占める予約者の割合



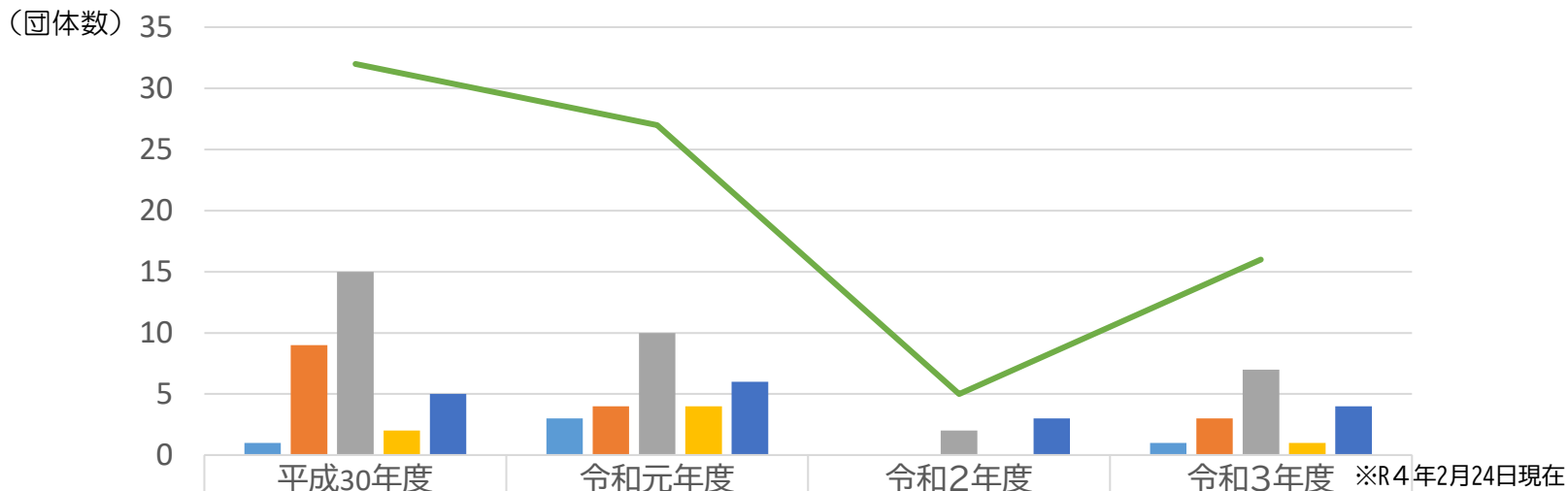
献血予約状況の推移(東京都)

献血ルーム(成分)の予約状況 R2.4~R4.1

※予約構成率は献血者数に占める予約者の割合



献血セミナー実施状況(東京都)



| | | | | |
|------------|----|----|---|----|
| 小学校 | 1 | 3 | | 1 |
| 中学校 | 9 | 4 | | 3 |
| 高等学校 | 15 | 10 | 2 | 7 |
| 専門学校 | 2 | 4 | | 1 |
| 大学(短期大学含む) | 5 | 6 | 3 | 4 |
| 計 | 32 | 27 | 5 | 16 |

■ 小学校
 ■ 中学校
 ■ 高等学校
 ■ 専門学校
 ■ 大学(短期大学含む)
 — 計

【令和3年度のオンライン実施について】

- オンラインセミナー 大学1校
- 参集+他会場でのライブ配信 中学1校 高等学校1校
- 事前録画を各自視聴 大学2校

新宿地区の再編成(新宿東口出張所の開所)

令和3年12月に以下の2献血ルームを廃止

「新宿東口新宿通り出張所(11ベッド)」

「新宿東口駅前出張所(14ベッド)」

同年同月、新宿地区に「新宿東口出張所(26ベッド)」を開所



献血受入業務のデジタル化について

現在、献血者の利便性向上と献血カードの電子化を求める声に応えることに加え、コロナ禍による献血会場での滞在時間短縮や接触機会削減を図る必要性から、以下の施策に取り組んでいる。

| | |
|-----------|--|
| アプリ版献血カード | • ラブラッドをスマホアプリ化し、献血カード機能をもたせる。 |
| 事前web問診回答 | • 献血来所前にラブラッドから問診回答を入力する。 |
| プレ会員 | • 献血可能年齢未満の若年層を主な対象とした会員制情報提供サービスを展開し、初回献血推進を行う。 |

12. TOKYO2020オリンピックの対応について

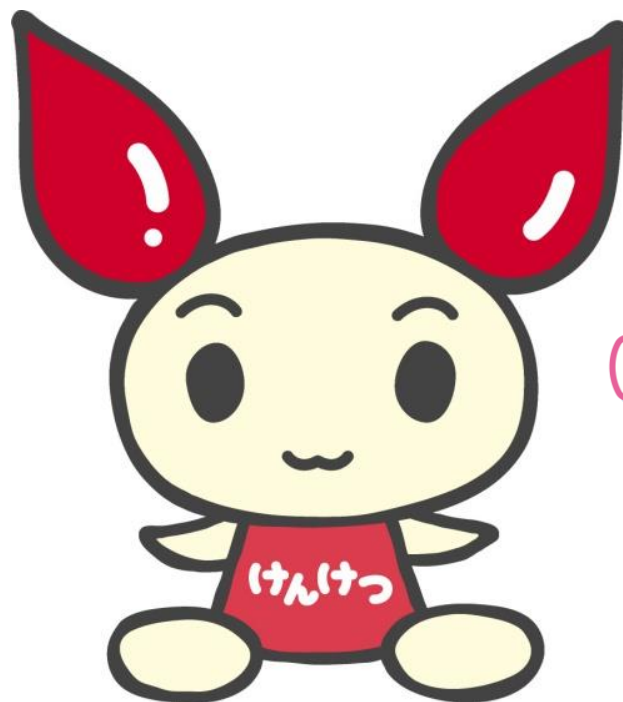
① 献血者確保への影響とその対応

- ・オリンピック開催に関わらず、コロナ禍の影響により企業のテレワーク化は進んでおり、オリンピックによる企業献血への影響はなかった。
- ・開催期間中は緊急事態宣言の影響もあり、人流が少なく、街頭や献血ルームでの献血者確保に苦慮した。
- ・通常、協力者数の多い警察署での献血は、オリンピックの警護に人員が大量に動員され、献血者確保に苦慮した。
- ・海外客の見送り、無観客開催となったことで海外からの渡航者が大きく減少したことにより、Rh-製剤確保のための献血依頼は行わず、関東甲信越ブロック内での在庫で対応することとなった。

② 交通渋滞等による影響とその対応

- ・医療機関に対して、交通渋滞等による配送へ影響について、事前に書面によるアナウンスを実施した。
- ・無観客開催となったことにより、交通量も予想より少なく、血液搬送に影響はなかった。

ご清聴ありがとうございました



献血キャラクター

けんけつちゃん